



こんにちは赤ちゃん訪問だよ!

No.26 11月7日

大分市民児協 子育て支援部
大分市保健所 健康課

11月に入り、朝夕冷え込む季節になりました。この時期から流行する病気（インフルエンザなどの感染症等）もあります。手洗いやうがいなどを行い、病気にならないように心がけましょう。そして、近づく冬を元気に迎えましょう。



子育て支援部より

私たちの校区は、ハッピーメールを届ける時から区域担当の民生委員さんと一緒に赤ちゃんのいるお宅を訪問しています。

「こんにちは。こんにちは。」玄関からいくら声をかけてもだれも出て来ない。仕方がない、また来るか…と諦めて帰ろうとすると「大丈夫よ、私に任せて。」と慣れた感じで民生委員さんが身をのりだして大きく声をかけてくれる。奥の方から「はい」と家の人が出てきてくれた。「こんにちは。赤ちゃん訪問です。」と挨拶すると、相手の方から「もしかして〇〇ちゃんのおばあちゃんですか？」や「えっ〇〇さん？」と声がかかる。

訪問してもいない。連絡を取りたくても電話番号がわからない。そんな時は、区域担当の民生委員さんが知り合いの伝を使って動き回ってくれる。団地の家はわかりやすいけれど、地元の家は、地図よりも民生委員さんの案内のほうが心強い。

「忙しければ主任児童委員だけで訪問しましょうか？」と問えば、「大丈夫よ、私たちは児童委員でもあるのだから。一緒に訪問するよ。」と返事が返ってくる。

毎回記録票を書きながら、「今日も民生委員さんに助けてもらったなあ」と心があたたかくなる。そんなこんにちは赤ちゃん訪問です。

(大分市主任児童委員)

11月は『乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間』です

●乳幼児突然死症候群（SIDS）をご存知ですか

乳幼児突然死症候群（SIDS）は、それまで元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく眠っている間に突然死亡してしまう病気です。生後2か月から6か月に多く、まれに1歳以上でも発症することがあります。原因はまだ分かっていませんが、以下の3点に留意すれば、発症率が低下することが研究で明らかになっています。

●SIDSから赤ちゃんを守るための3つのポイント

- * うつぶせ寝は避ける
- * たばこはやめる（両親や身近な人の協力が必要）
- * できるだけ母乳で育てる

